

# 規制改革推進会議（第28回）終了後記者会見 議事録

1. 日 時：令和8年6月29日（月）15:05～15:25
2. 場 所：中央合同庁舎第8号館1階S103会見室
3. 出席者：  
（委 員）富田哲郎議長

## ○事務局

それでは、規制改革推進会議後の事後ブリーフィングを開始したいと思います。

冒頭、富田議長から御発言を頂きたいと思います。議長、よろしくお願いいたします。

## ○富田議長

富田でございます。よろしくお願いいたします。

本日、高市総理、それから木原官房長官、城内大臣に御出席いただきまして、第28回規制改革推進会議を開催してまいりました。

今日の会議では、「規制改革推進に関する答申」の案に関しまして、委員の皆様方から活発な意見が交換されました。

その後、答申が案のとおり決定されたところでございます。

議論の詳細につきましては、後ほど事務方に御確認いただければと思いますが、会議の締めくくりで高市総理から御発言がございました。内容は皆様もお聞きいただいたとおりでございますけれども、総理からの御発言を踏まえまして、私ども規制改革推進会議としては、答申に盛り込まれました改革事項が「規制改革推進計画」として速やかに閣議決定され、スピード感を持って実行されていくことを強く期待しております。

今後とも、時代や環境の変化、AIをはじめとするテクノロジーの進化に合わせて、規制・制度改革に絶え間なく取り組んでいくことが極めて重要だと考えております。

私からは冒頭以上でございます。よろしくお願いいたします。

## ○事務局

この後、事務方から詳細なブリーフィングをいたしますが、まず富田議長に対して御質問等があられる方がございましたら、よろしくお願いいたします。

どうぞ。

## ○記者

朝日新聞のイシカワと申します。

成長戦略と規制会議の兼ね合いと言いますか、関係について考えをお伺いしたいのですが、もちろん一種の車の両輪というところはあると思うのですが、成長戦略に

において政府が前面に出て投資をするという答申の重要性が規定された背景には、規制緩和だけでは力不足だったという過去の総括があると思うのですが、この過去の総括とそこから導き出される政府の投資が必要だという考え方については、いかがお考えか、こういう場ですので、改めてお伺いいたします。

○富田議長

今、御指摘いただいた点は、大変、今後の政策面で大事な部分だと思います。

昨年12月24日の規制改革推進会議におきまして、令和8年の夏以降、日本成長戦略の内容を踏まえて、規制・制度改革の観点で成長戦略に資する新たな議論を行うとともに、決定事項に対するフォローアップに取り組むということが方針として示されております。今回の答申でも、このことは明記されております。

やはり規制改革だけではなくて、強い経済を実現する、そして豊かな社会を実現していく上で、日本成長戦略本部等々の成長戦略の議論は、非常に重要な関係を持っていると思いますので、「強い経済の実現」に向けて、今、申し上げましたような方針を踏まえて、私どもとしても日本成長戦略本部、それから日本成長戦略会議とも連携しながら取り組んでまいりたいと思っております。

以上です。

○事務局

他に御質問のある方はいらっしゃいますでしょうか。よろしいですか。

それでは、議長、どうもありがとうございました。

○富田議長

どうもありがとうございました。

失礼いたします。

(以 上)